

## 建物（新営・増改築・改修）のデザインガイドライン

### ●オープンスペースとの連続性

シンボル空間、街路、広場など、キャンパスの骨格や交流軸に面する建物は、これらのオープンスペースに対して連続性・開放性を確保し、交流の機会やアクセシビリティを高める。

- エントランスや主要開口部から建物内の様子や活動がうかがい知れる透明性
- 建物低層部に交流スペース・共通スペース
- アプローチ部の小広場化、植栽の整理
- エントランス性の明示（入り口がわかりやすいデザイン）

### ●景観の文脈の尊重

スカイラインや壁面線など、キャンパスの景観の文脈や秩序を読みとり尊重する。また、周辺建物群の形態、空間構成、外装材、色彩などについて、基調となっているものを分析し、建物のデザインに活かす（同調または対比）。

### ●図となる建物

交流施設や福利厚生施設など、公共性の高い建物は、周辺環境との調和を保ちつつ、個性的なデザインになるよう工夫する。外観の一部に、アクセントとなるような形態や外装材を取り入れて、華やかさを持たせてもよい（奇抜とならないよう配慮する）。

### ●地となる建物

一方、一般の研究棟や講義棟のデザインは、基調となる既存の建物と同調させ、キャンパスの地を形成するよう配慮する。外観には、キャンパスや部局の基調となる形態・外装材・色彩を採用する。ただし、手すり・建具・屋外階段など、小さなデザイン要素にはアクセント色を採用し、適度な華やかさを持たせてもよい。

### ●リニューアルの成果の表現

主要な建物を改修する際には、ファサードの一部に、新しいデザイン要素（外殻フレーム、バルコニー、庇など）を用い、新しい建築要素による表情豊かで秩序ある外観の計画を検討する。

### ●共通スペース・交流スペースの充実

建物の新築・改修時には、適切な位置に、学生・教職員の交流スペースや、教育・研究のための共通スペースを確保する。

### ●長く実効的に使用できる配慮

汚れにくく、維持管理のしやすい材料・構法・デザインを採用する。また、将来の用途変更や、先進的な教育・研究に対応できるよう、講義・演習・研究スペースにフレキシビリティを確保する。

### ●ユニバーサルデザイン

バリアフリーやわかりやすさに配慮する。建物の改修時には、エレベーターの整備改修、段差解消、廊下幅員の改善、便所の改善などを実施する。

### ●防犯性への配慮

事務室・居室からの見守り（エントランスや外部空間に視線の届く空間構成）の確保、建物内外への防犯設備の導入など。



スカイライン・壁面線に配慮された秩序ある景観  
(慶応大学藤沢キャンパス)



歩行者空間との親密な関係  
(立命館大学草津キャンパス)



図となっている建物  
(食堂と図書館)  
(ユトレヒト大学)



エントランスホールにつくられたカフェ  
(ユトレヒト大学)



開かれた表情の実験施設  
(ユトレヒト大学)

## オープンスペースのデザインガイドライン

### ●キャンパスの骨格への配慮

シンボル空間、エントランスゾーン、メインストリート、副次的ストリート、広場、緑地などのデザインには、キャンパスの骨格形成のために定義づけられた役割を果たすことが求められる。交流のための広場、シンボルストリートの形成など。

### ●広場のデザイン

交流の場、シンボルとしての広場など、役割に対応したデザインが求められる。広場自体の形態だけでなく、建物・街路・自然など、周辺環境との関係に配慮する。

- 集える場所、憩える場所：株立ちの植栽、舗装・芝生の整備、座れる場所・ベンチ、
- 景観：見通し、建物・植栽などによる囲まれ方、風景の活かし方
- アイデンティティ：舗装、形態、沿道の建物、モニュメント、ネーミングなどによる個性化

### ●街路のデザイン

交流の場、自然を楽しむ場、シンボルとしての街路など、役割に対応した総合的なデザインが求められる。

- 交流：建物と街路の親密な関係（視線の透過性、アクセシビリティなど）、オープンスペースのネットワークに対応した街路と広場との連続性
- 自然：視点場、法面・擁壁、街路樹などの整備
- 交通の役割に対応したデザイン：歩車分離/融合に対応したデザイン、歩車道比率、車速を抑えるデザイン
- 景観：D/H・スカイライン・壁面線への配慮、建物のデザインガイドラインと連動
- アイデンティティ：舗装、デザイン、建物、植栽、街路樹などによる個性化

### ●維持・管理に配慮した植栽の計画

適切な配置・樹種・剪定方法・ボリュームの組み合わせによる計画

### ●ユニバーサルデザイン

段差解消、屋外へのエレベーター設置、建物内エレベーターの利用など

### ●ストリートファニチャー

サイン、ベンチ、照明、自転車置き場、ゴミ箱、ゴミ置場、バス停屋根、渡り廊下屋根などについて、優れたデザインの導入と統一。

### ●駐輪場の計画

駐輪場は建物一棟または数棟単位で、所要台数を確保することが望ましい（分散配置）。



建物に囲まれたモール  
(京大桂キャンパス)



“間”を大切にしたい  
アプローチ空間とプラザ  
(慶応大学藤沢キャンパス)



内と外のつながりを重視した建物のデザイン  
(慶応大学藤沢キャンパス)



駐輪場に対して配慮のない計画



“間”の少ないアプローチ空間（留まるための場所がない）



障害物のある歩行空間

閉じた表情の共通施設



公共性の高い建物でありながら貧弱でバリアのある歩行空間

### 現状の問題